

松戸市における公的支援の実施状況

◎市長申立て件数(各年度実績)

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
高齢者	19件	29件	38件	34件	30件	28件
障害者	6件	3件	3件	7件	3件	3件
合計	25件	32件	41件	41件	33件	31件

◎報酬助成件数(各年度実績)

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
高齢者	46件	61件	72件	124件	126件	142件
障害者	25件	30件	36件	40件	40件	48件
合計	71件	91件	108件	164件	166件	190件

◎本人・親族申立費用助成件数(各年度実績)

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
高齢者	12件	11件	27件	21件	35件	32件
障害者	令和3年度より開始				2件	2件
合計	12件	11件	27件	21件	37件	34件

公的支援の傾向及び令和5年度の実施計画

○市長申立て

- ・令和4年度、高齢者分野で申立てを行った28名のうち、審判確定前に亡くなった2名を除く26名全員が後見類型であった。
- ・申立検討会から家庭裁判所への申立てまでの平均日数は133日。
- ・成年後見人の職種は社会福祉士が14名と半数を占めている。
- ・障害分野の3名はいずれも後見類型、後見人は社会福祉士、法人後見である。
- ・今年度も引き続き、本人の福祉のために成年後見制度の活用が必要と認められるが、申立人がいない場合に関しては、市長申立てを活用していく。

○報酬助成

- ・件数は増加傾向である。高齢者分野においては、本人が施設もしくは入院しているケースが109件であった。
- ・障害分野においても件数はやや増加している。令和4年度、本人が施設もしくは入院しているケースは9件であった。
- ・国の第二期成年後見制度利用促進計画の中に「報酬助成等の制度のあり方についての検討」が明記されていることから、国の動向に注視していく。

○本人・親族申立費用助成

- ・件数は横ばいである。成年後見制度の活用が必要であるにも関わらず、経済的に困難であることを理由に活用できない状況にならないよう、引き続き本助成制度を周知し、必要な方に利用してもらえるように支援する。